

# 平成25年度 流域モニタリング一斉調査

調査河川： 白子川

調査場所： 国道151号線上流約200m位置 本宮橋下流

調査日時： 7月15日(月)AM10:30 ~ 12:00

## 調査報告書

調査主催者 新城市環境部環境課

調査団体 飛煙社

西尾 幸男

服部 光勇



### 3.水のきれいさ(平均 4.2点)について、

水のおい、水に浮いた油や泡については評価は5である。水の色・においの評価については、工事によるにごりが取れたとはいえずかにみられ評価4とした。

水の底の感触についても同じで、堆積土砂が見られても流速は以外と有り、その流れにより、川底に土砂が滞まらず砂系のためヌメリ感は少ない。

水の外観はきれいに見えるが、CODパックテストでは5mg/L前後であり評価は3とした。

### 4.水の量(平均 3.3点)について、

流量河川断面  $A= 0.88\text{m}^2$

水面幅  $B= 3.3\text{m}$

流速  $V= 0.60\text{m/S}$

流量  $Q= 0.53\text{m}^3/\text{S}$

堆積土砂の影響をうけ、通常流れている河川幅が狭まっていてそれが流速を速めていると考える。また、その土砂により川の中で結構ワンドが出来つつあり流れの方向にも影響はでている。

わき水については聞き取りで無いとのこと、よって評価できず。

### 5.生態系(平均 3.2点)について、

今回の調査で、カワムツ・ヨシノボリ・フナ・モエビ等は捕獲ができた。多種多様な魚類及び数も思いのほかいて魚を捕まえるのが楽しかった。

ただ地元の人に聞くと、魚類・数がかなり減ったとのこと。

外来種ではアメリカザリガニの生息と砂地にはミミズの生息が確認できた。

その他、石の下に棲む水生生物について、土砂の流入・堆積もあり生息の確認ができななかつた。

6.水辺のようす(平均 2.7.点)について、

ゴミは、少々みられる程度で気になる程ではない。

水の透視度調査では70cmで線が見えにくくなる。工事土砂の流入による影響はかなり少なくなっているが、評価は4とした。




ブロック立護岸だが、所々に階段があり、評価を3とした。

水辺の利用・自然度・景観について、この調査地点は水田地帯で家屋から離れ人影も見られなかった。人工的な水辺で、葦等の植物も生えているが、川で遊んだり、景色を楽しむには少々難があると思われる。

この日は、天候がよく周りを確認したり地元の人に聞いたりしたが、学習のための観察会や環境保全活動をしている人は今年は居ないとのこと。

# 調査票

調査票を提出する際には、調査地点のわかる地図を添付してください。

グループ名	飛煙社	調査日時	25年7月15日(月) 午前10時 <sup>00</sup> 分		
名前	西尾 服部	調査場所	白子川 川の幅 110m		
		参加人数	3人	天気	  

## 水のきれいさ

調査項目	調査項目ごとの評点					評点	平均点
	5	4	3	2	1		
	安全できれいな水 ←————→ 利用しにくい水						
1.水の色	無色	中間	少し色がある	中間	濃い色がついている	4点	平均 4.2点
2.水にごり	透明	中間	少しにごっている	中間	とにごっている	4点	
3.水におい	においを感じない	中間	いやなおいを少し感じる	中間	いやなおいを強く感じる	5点	
4.水に浮いた油や泡	泡はない 油のまくはない	中間	泡が少しある 油のまくが少しある	中間	泡が多い 油のまくが多い	5点	
5.水の底の感しょく	心地よい	中間	ちょっとヌルヌルしている	中間	ヌルヌルして気持ちわるい	4点	
6.CODパックテスト <sup>®</sup> 調査 mg/l	2mg/l以下	3mg/l以下	5mg/l以下	8mg/l以下	8mg/lをこえる	3点	

## 水の量

調査項目	調査項目ごとの評点					評点	平均点
	5	4	3	2	1		
	十分な流れがある ←————→ 流れがある —————→ 流れがほとんどない						
1.流れのはやさ	水面に波がある ような流れがある	中間	水面は波がないがはっきり 流れているとわかる	中間	流れがほとんどない	5点	平均 3.3点
2.流れの変化	瀬・淵・ワンドなど 多様な流れがある	中間	流れに変化がある	中間	流れに変化がない	2点	
3.わき水のようす <sup>※1</sup>	以前と変わらない水量 のわき水(湧水)がある	中間	少ないけど わき水(湧水)がある	中間	わき水(湧水)が なくなった	1点	
4.川の深さ cm	60cm以上	40cm~60cm	20cm~40cm	10cm~20cm	10cm未満	3点	
5.川の流れの速さ cm/秒	60cm/秒以上	40cm/秒 ~60cm/秒	20cm/秒 ~40cm/秒	10cm/秒 ~20cm/秒	10cm/秒未満	3点	

備考 ※気づいたことがあれば、記入してください。

注)水の量の評点は、河川の源流域、河口部などや、湖沼、ため池、海では使用しない。  
 評点の判断基準にある「中間」は、その前後で判断に迷う場合に採用し、その評点を記入する。  
 ※1:湧水が過去に確認されている場合のみ使用。

せいたいけい  
生態系

調査項目	調査項目ごとの評点					評点	平均点
	5	4	3	2	1		
	生物が豊かな水環境 ← 生物がいる水環境 → 生物がほとんどいない水環境						
1.魚のようす	たくさんいる	中間	たまに見かける	中間	魚がない	4点	平均 3.2点
2.水ぎわの植物	いろいろな植物が多くはえている	中間	植物がはえている	中間	植物はない	3点	
3.周辺の植物	木が多くはえている	中間	緑がある	中間	緑はない	3点	
4.周辺の生き物	いろいろな種類の生き物がいる	中間	たまに生き物を見る	中間	生き物はない	3点	
5.外来種	いない	少ない	やや多い	多い	外来種しかない	4点	
6.水質 (生き物による水の きれいさの階級)	I	II	III	IV	何もいない	2点	

みすべ  
水辺のようす

調査項目	調査項目ごとの評点					評点	平均点	
	5	4	3	2	1			
	快適な水辺(積極的に活用したい水) ← 水辺を活用できる程度 → 不快な水辺							
1.ごみ	ごみがない	中間	ごみが ところどころある	中間	ごみが多い	4点	平均 2.7点	
2.水辺の利用	水のまわりや中で 遊びたい	中間	ながめたり さんぽをしたい	中間	近づきたくない	3点		
3.水辺への 近づきやすさ <sup>※2</sup>	どこからでも 水辺に近づける	中間	水辺に近づける ところがある	中間	近づけない	3点		
4.水辺の自然度 <sup>※3</sup>	緑が多く 自然が豊か	中間	緑はある	中間	人工的な水辺	1点		
5.水辺の景観 <sup>けいかん</sup>	全体が調和していて こちがよい	中間	調和していない ところもある	中間	まわりの風景と うまく調和していない	3点		
ヒア リ ン グ 調 査	6.散歩・レジャー <sup>さんぽ</sup>	多くの人に毎日のように 利用されている	中間	ときどき 利用されている	中間	利用されていない		3点
	7.環境学習 <sup>かんきょうがくしゅう</sup>	多くの人に 利用されている	中間	ときどき 利用されている	中間	利用されていない		2点
	8.環境保全活動 <sup>かんきょうほぜんかつどう</sup>	多くの人が 活動している	中間	ときどき 活動している人がいる	中間	活動している人が いない		1点
9.透視度 <sup>とうしど</sup> cm	80cm以上	60cm~80cm	40cm~60cm	20cm~40cm	20cm以下	4点		

選択項目数

※特に重要と考える  
調査項目を選択

選択項目点数

点

備考 ※気づいたことがあれば、記入してください。

たろの人から水 最近魚が少なくなった。

注) 評点の判断基準にある「中間」は、その前後で判断に迷う場合に採用し、その評点を記入する。

※2、※3: 相反する評価となる可能性がある。

涌水には、この周辺ではよく上流から有る。





白子川

7月15日

上流方向

P730028



流量観測

下流方向

P730029



CODパケットテスト

5mg/l以下

P730023





白子川

7月15日

流速測定

P730022



カワムツ

ヨシノボリ

フナ

P730024



スジエビ

P730025

白子川

